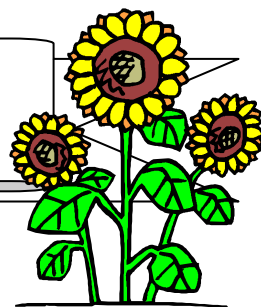




美和堂農経済センターだより

JA静岡市

電話 296-2121 ファクシミリ 296-2125



センター長	大沼	お茶・果樹	村田	茶	武田	購買	瀧田	購買・地区担当	滝浪
女性部購買	市川	苺・蔬菜・水稲	宇佐美	蔬菜・苺青壮年部	望月	購買・地区担当	山田		

美和堂農経済センターだより 令和3年8月20日発行

茶の害虫「マダラカサハラハムシ」 防除時期：8月～



↑成虫

体長約 4mm

従来は茶が加害されることは少なかったのですが、温暖化の影響か、数が増加し、ここ数年で被害が増え始めている害虫です。

【生態】成虫は8月から発生し始め特に9～10月の発生が多い。成虫は3番茶、秋芽を食害する。その後、産卵し、孵化した幼虫が土中で越冬。再び来年8月～10月頃成虫になり産卵するというサイクルを繰り返します。

8月から発生した成虫の殆どは越冬できず死にますが、稀に生き残った個体が翌年1番茶の新芽も加害します。

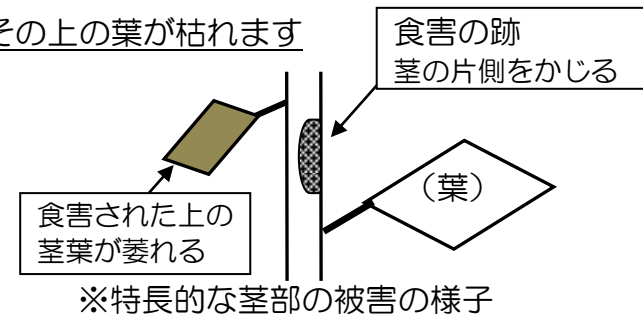
【被害】成虫が葉に数mmの穴を多数空けます。また、特徴的な被害として茎の片側が食害され、その上の葉が枯れます

【防除】

被害が多発した園では、

- ・コテツフロアブル[㊟] 2000倍 (7日)
- ・エクシレルSC 2000倍 (7日)
- ・ダントツ水溶剤 2000倍 (7日)

上記いずれかの農薬を散布する。



【お知らせ】静岡県 新型コロナ応援金について

静岡県内に「まん延防止等重点措置」等が適用されたことを受け、静岡県は現在国が実施している「月次支援金」を拡充する形で応援金を給付する予定です。

8月の売り上げが前年、前々年に比べ30%以上～50%未満減少していることを条件に法人上限10万円、個人事業者には上限5万円を支給するものですが、申請方法や時期など詳細はまだ不明です。9月以降に改めてお知らせしますのでご了承下さい。

茶

【防除】 共同茶工場に出荷している方は、工場の農薬基準を守りましょう！

☆ 8月下旬よりホコリダニ、ハマキムシ類等の発生が予想されます。

☆ 8月下旬に天候不順がある場合は炭そ病、もち病、褐色円星病等の発生が予想されます。

【3 茶芽生育期】

炭そ病、もち病、褐色円星病 発生園

インダーフロアブル[㊟][5,000倍・7日]等を散布。8月以降、降雨が続き、病気が見られます。

ハマキムシ類 発生園

防除時期を逃した場合(幼虫体長2cm以上)にはアファーム乳剤[㊟][2,000倍・7日]を散布。

ホコリダニ 発生園 症状は葉裏の褐変・葉表が波打つ(盆過ぎから発生するので注意)

ハチハチ乳剤[㊟][1,000倍・14日]を散布。

※ ハチハチ乳剤[㊟]は、ウンカ・スリップス・ホソガにも効果有。

カンザワハダニ 発生園

アグリメック[㊟][1,000倍・7日]又はミルベノック乳剤[㊟][1,000倍・7日]等を散布。

※ アグリメック[㊟]、ミルベノック乳剤[㊟]はホコリダニ、サビダニにも登録があります。

クワシロカイガラムシ発生園 防除時期：9月中下旬, 散布量：1,000ℓ/10a

アプロードエースフロアブル[㊟][1,000倍・21日]又はスプラサイド乳剤[㊟][1,500倍・14日]

【秋芽開葉期】

ドイツホルダーA	500倍	炭そ病、もち病、網もち病	混用
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	ウンカ、スリップス、ホソガ、カメムシ	14日

☆秋冬番茶を収穫する場合、安全使用日数等、工場の指示に従って下さい！！☆

【秋 肥】

夏から秋にかけて、茶樹は養分を盛んに吸収して、根や幹を生育・肥大させます。また、この時期の茶樹の生育や養分の蓄積は、翌年の新芽の生育や収量・品質に影響しますので適期に適量施肥することが大切です。施用後は土と混ぜて下さい。

- ・1回目 8月下旬 配合 5袋/10a ※1回目と2回目の施肥は、施用効果を
- ・2回目 9月中旬 配合 5袋/10a 上げるため、10日程度あけて下さい。

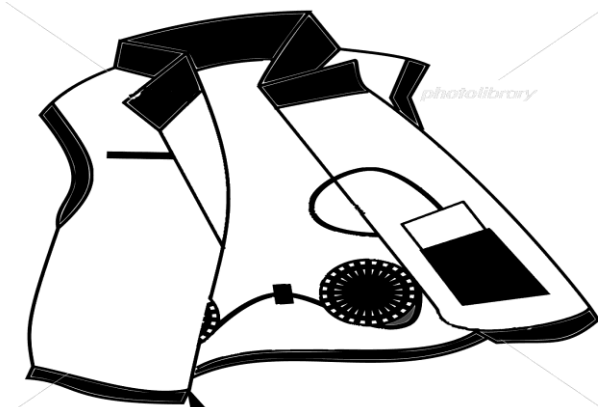
愛用者急増中！『空調服』のご案内

★営農経済センターで試着可能！★

「空調服」は、付属するファンの働きによって強制的に服の内部に空気を循環させ、涼くさせる効果があります。見た目などから最初は抵抗があるかもしれませんが、効果は抜群！一度着たら暑い日には手放せなくなります！
営農センターで試着可能！是非1度試着してみてください！

充電してすぐに使える！

3点(ベスト+バッテリー+ファン) セット価格 11,800円より



水稻

- 水管理
 - 出穂後は数日おきに間断かん水とし、落水は出穂後30日頃とする。
- 病害虫防除（中生・晩生）
 - 出穂直後8月下旬～9月上旬



穂もち・穂枯れ	ブラシン(フ)	1,000倍	収穫7日前	2回
ウンカ・カメムシ	スタークル(顆水)	2,000倍	収穫7日前	3回

- 収穫時期
 - 一穂中の90%の籾が黄金色になった頃（早生品種では出穂後35～40日頃が目安）
 - 8月に入り高温が続いているため高温障害の発生が懸念されます。かけ流しなどの管理を行い、水温管理に注意してください。

ウンカ・カメムシに注意!

秋ウンカ（トビイロウンカ）は株元付近で吸汁し坪枯れを引き起こします。カメムシは口針を作物に刺して吸汁するので「しいな粒」や「斑点米」被害が発生します。

防除のポイント

- ウンカ類は株元に寄生することが多いため、株元まで薬剤がかかるようにする。
- カメムシは日中あまり活動しないため防除は早朝か夕方に行なう。
- 発生の多い場合には下記の薬剤で防除をする



エミリア(フ)	1,000倍	収穫7日前	2回
エクシード(フ)	2,000倍	収穫7日前	3回

令和3年度 水稻農作業標準料金表(税込)

作業名	単位	料金	備考
刈取	コンバイン	54,450円	刈取・乾燥・籾摺（玄米運搬は含まない） 結束ひも代含む
	バンダー	16,500円	
脱穀	10a	14,520円	
乾燥		27,170円	コンバインによる刈取籾
		5,500円	玄米水分は18%未満とし、それ以上は割増とする
籾摺	60kg	1,210円	乾燥良く収穫した籾
玄米運搬	10a	2,200円	

野菜（秋冬アブラナ科野菜）

生育初期のコナガ・ヨトウは定植時の粒剤施用で被害を防ぎましょう。

薬剤名	キャベツ	ハクサイ	ダイコン	ブロッコリー
オルトラン(粒)	1～2g/株	1～2g/株	3～4kg/10a	2g/株
プリロツソ(粒)	1g/株	1g/株	6kg/10a	1g/株
プレバソン5(フ)	100倍(灌注) 2,000倍	100倍(灌注) 2,000倍	2,000倍	100倍(灌注) 2,000倍

※プレバソンの灌注はセルトレイまたはペーパーポットのみです。ポリポットへは使用できません。

いちご



育苗ラストスパートです!! 病害虫防除や温度管理に気を付けて良質苗の定植が出来るようにしましょう。向こう一か月予報では平年同様に晴天が多く、気温が高くなる予報です。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。昨年以上に温度管理に注意して下さい。

1、切り離しからの管理

- 育苗中の肥切れは芯止まりにつながります。試験紙を用いて、こまめに確認しましょう。→暑い日が続くと地温が高まると、水は吸えても肥料は吸えなくなってしまい、肥切れになる恐れがあります。暑い時間の地温を下げる工夫が必要です。（寒冷紗など）
- 切り離し時にI B化成S1号を子苗ポットへ1粒施用。（肥効は10日～14日程度）
※9月以降は液肥での管理として下さい（硝酸態窒素濃度50ppm～100ppmを目安）
→葉面散布の場合は3日～5日間で散布。（EC0.5程度）
- 朝夕にしっかりと灌水を行い、培地の温度を下げる。
- 切り離し時に2～2.5枚。2週間間隔で葉かきを行い、2～2.5枚になる様に整理をする。
・・・定植1週間前に葉かきを行い、定植時は4～5枚にする。

収穫前日数や天敵への影響日数には十分注意して農薬を選択してください!!

2、炭そ病防除ローテーション（先月号の続き）

「本圃への病害虫の持ち込みがないように定植前とはくに入念な防除を行いましょう。」

注意

時期	薬剤	RAC	倍率	回数	主な対象病害虫
9月2週目	アントラコール(水)	M3	500	2/6	炭疽
	エコピタ(液)	-	100	-	うどんこ・ハダニ
9月3週目	ゲッター(水)	1・10	1000	3/3	炭疽
	プレオ(フ)	UN	1000	2/4	ヨトウ
9月4週目	ベルコート(水)	M7	1000	5/5	炭疽・うどんこ
	ニッソラン(水)	10A	2000～3000	2/2	ハダニ

※定植前に小苗や本圃のコガネムシ防除を行いましょう。（ダイアジノンSLソル）

3、定植時の確認事項

- 必ず分化を確認してから定植してください。検鏡は随時受付しています。
- 定植時は葉っぱ4～5枚でお願いします。（定植後2週間は葉かきしないこと）
※病害虫の発生が酷い場合は適宜除去をお願いします。
- 土耕の場合は、大量の灌水などにより除塩を行う。元肥は定植20日前までに施用
- 高設の場合は、水のかけ流しを行い排水のECを0.3以下まで下げる。
→定植1週間前からEC0.4程度で給液を開始する。
- 定植時の地温はなるべく下げ、根の伸長を促しましょう。（適温は18～23℃）
- 定植後1週間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。（新葉の展開が確認出来るまで）

機械トラブルに注意!

定植後に給液異常が起こらないに十分注意しましょう。定植前に一度は実際に稼働させ、給液量や給液EC等が正常かどうかの確認を行いましょう!!

☆チェックポイント☆

- チューブのつまりはないか?
 - 給液量は正常に出ていそうか?
 - 給液ECは設定値どおりか?
- 適当な容器に入れ営農センターへご持参頂ければ、無料で測定致します。（EC、pH）